

# オンライン卒後臨床研修評価システム EPOC (Evaluation system of Postgraduate Clinical Training) について

国立大学医学部附属病院長会議常置委員会  
教育研修問題小委員会EPOC運営委員会

本著作物は、EPOC参加施設が施設内(プログラム管理型病院にあっては、協力型病院等を含むものとします)の教職員・学生等への説明に利用する場合のみ、施設内(プログラム管理型病院にあっては、協力型病院等を含むものとします)に限定した提示・印刷配布を許諾します。それ以外の利用の場合には、必ず事前に著作権者への利用許諾依頼をお願いいたします。

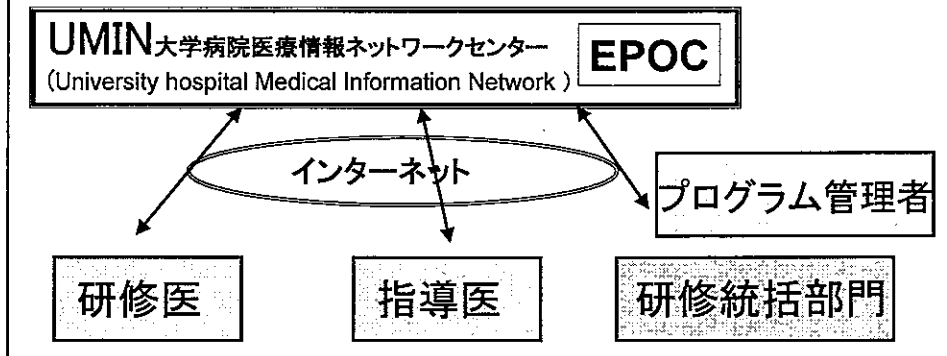
## 背景

- 必修化により全国共通の研修目標が設定されている
- 複数の診療科からなる研修が一般となる(スーパーローテイト)
- 複数の病院・施設からなる研修が多くなる(病院群)
- 複数のプログラムに参加する病院施設が存在する
- 研修医の評価が求められる(厚労省令158号17条)
- 研修医の研修記録を5年間保存しなければならない(同18条)
- 研修指定病院は第三者による評価を受け、その結果を公表する(同施行令)

→ 共通評価システムの必要性

## EPOCとはインターネットを利用した研修評価システム

- 全国共通研修目標に準拠
- カスタマイズが可能
- 協力病院・施設からもリアルタイムアクセス
- 専用サーバーやソフトが不要
- セキュリティ・保存に有利
- 使用料金：2年間で1000円/研修医



## 運営組織

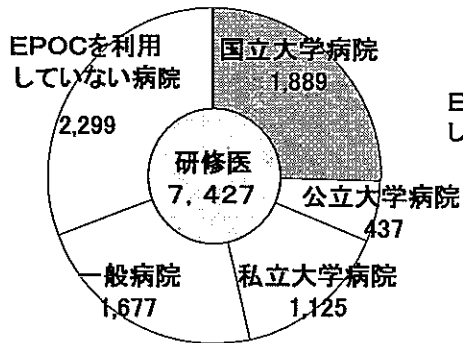
国立大学法人医学部附属病院長会議  
常置委員会  
教育研修問題小委員会  
EPOC運営委員会

浅 香 正 博	北海道大学大学院医学研究科 病態制御学病態内科学講座消化器内科学講座
田 邊 政 裕	千葉大学医学部附属病院 卒後・生涯医学臨床研修部
北 村 聖	東京大学医学教育国際協力研究センター
田 中 雄 二 郎	東京医科歯科大学医学部附属病院総合診療部
前 川 剛 志	山口大学医学部先進救急医療センター
大 滝 純 司	東京大学医学教育国際協力研究センター
木 内 貴 弘	東京大学医学部附属病院UMINセンター
大 川 淳	東京医科歯科大学医学部附属病院総合診療部
後 藤 英 司	横浜市立大学医学部医学教育学
生 越 喬 二	東海大学医学部附属病院 臨床研修副部長
石 川 陵 一	聖路加国際病院副院長

順不同

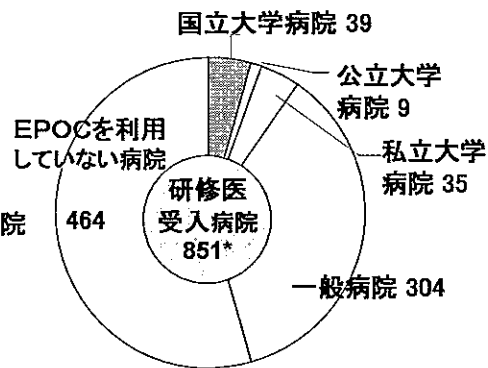
## 平成16年度EPOC利用状況

研修医(人)



利用研修医 総数 5,128

病院(数)



利用病院 総数 387

\*マッチング研修医の受け入れ病院

## 評価内容は4種類

- 研修状況の評価
  - 自己評価+指導医による評価
- 指導状況の評価
  - 研修医による
  - 統括部門は入力後に参照可能
  - 指導医はプログラム修了後に参照可能
- 研修環境の評価
  - 研修医による
- プログラムの評価
  - 研修医による

# 研修評価は自己評価後に 指導医による評価を入力

## 1. 行動目標項目 > 医療者として必要な基本姿勢・態度

※ a=十分できる b=できる, c=要努力 (3段階評価) / ?=評価不能

1. 患者-医師関係	b(できる)以上の項目数: 研修医評価 (3/3), 指導医評価 (-/3)	
	研修医の 自己評価	指導医評価
1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。	b	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input checked="" type="radio"/> 未入力
2) 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。	b	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
3) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。	a	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力

※ a=十分できる b=できる, c=要努力 (3段階評価) / ?=評価不能

2. チーム医療	b(できる)以上の項目数: 研修医評価 (5/5), 指導医評価 (-/5)	
	研修医の 自己評価	指導医評価
1) 指導医や専門医に適切なタイミングでコンサルテーションができる。	b	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
2) 上級及び同僚医師や他の医療従事者と適切にコミュニケーションがとれる。	b	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
3) 同僚及び後輩へ教育的関心度ができる。	b	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
4) 患者の転入・転出に当たり、情報を交換できる。	b	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
5) 関係機関や課団体の担当者とのコミュニケーションがとれる。	b	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力

# 「手技」は三段階評価

※ a=十分できる b=できる c=要努力 (3段階評価) / ?=評価不能

4. 基本的手技 ※は必修項目	b(できる)以上の項目数:- /20
1) 気道確保を実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
2) 人工呼吸を実施できる。(バグマスクによる徒手換気を含む) ※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
3) 心マッサージを実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
4) 圧迫止血法を実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
5) 包帯法を実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
6) 注射法(皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保)を実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
7) 中心静脈確保を実施できる。	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
8) 採血法(静脈血、動脈血)を実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
9) 穿刺法(胸腔)を実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
10) 穿刺法(胸腔、腹腔)を実施できる。	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
11) 導尿法を実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
12) ドレーン・チューブ類の管理ができる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
13) 胃管の挿入と管理ができる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
14) 局所麻酔法を実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力
15) 創傷消毒薬とガーゼ交換を実施できる。※	<input type="radio"/> a <input type="radio"/> b <input type="radio"/> c <input type="radio"/> 評価不能 <input type="radio"/> 未入力

# 「経験症例」は有り、無し の二段階評価 レポート提出の確認も可 レポート自体は紙ベースで行なう

## 研修医情報

研修医氏名	研修期間	医療機関等	研修ブロック	診療科等	入力期間
遊民 太郎	2003.05.01 - 2003.10.31	東大病院	内科	消化器内科	2003.05.01 - 2003.11.30 入力期間が終了しています。

## 研修医評価表

II. 経験目標項目 > B) 経験すべき症状・病態・疾患 > 1. 頻度の高い症状

◎ [経験した項目数] は、[指導医による確認]が確認済の項目の数を示しています。

1. 頻度の高い症状 ※は必修項目	経験した項目数: 6/35 (うち必修項目数: 5/20) (レポート提出数: 1/20)		
	研修医の自己評価	指導医による確認	レポート提出
■: [指導医による確認]が確認済の項目 ■: 他の研修ブロックで済のもの			
1) 全身倦怠感	未診療	○済 ○未	不要
2) 不眠 ※	診療済	○済 ○未	○済 ○未
3) 食欲不振	診療済	○済 ○未	不要
4) 体重減少(体重増加)	未診療	○済 ○未	不要

このページが表示されました

インターネット

# 評価の経時的変化をみることができる

## 研修医情報

研修医氏名	研修期間	医療機関等	研修ブロック	診療科等
遊民 太郎	2003.05.01 - 2003.10.31	東大病院	内科	消化器内科

## 研修医評価表

I. 行動目標項目 > 医療者として必要な基本姿勢・態度

■: 最新の研修ブロック ◎: 指導医評価が b 以上の研修ブロック

1. 患者-医師関係	全研修ブロックでの評価一覧 (青字: 研修医自己評価 / 赤字: 指導医評価) ◎ a = 特に優れている, b = 十分, c = 要努力, * = 評価不能									
	内科 2003.05.01 - 2003.10.31	外科 2003.11.01 - 2004.01.31	救急部門 2004.02.01 - 2004.04.30	小児科 2004.05.01 - 2004.05.31	産婦人科 2004.06.01 - 2004.06.30	地域医療-医療 2004.07.01 - 2004.07.31	精神科 2004.08.01 - 2004.08.31	放射線 2004.09.01 - 2004.12.31	産科科 2005.01.01 - 2005.04.30	小児外科
1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。	c/b	*/*	b/c	b/a	b/a	a/b	a/b	a/a	a/a	
2) 医師、患者・家族がともに納得できる医療を行うためのインフォームド・コンセントが実施できる。	b/b	b/c	b/c	a/b	b/c	a/b	b/c	b/b	a/a	
3) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。	b/a	a/b	c/b	b/c	*/*	b/c	b/a	a/a	a/a	

# 経験の経時的変化をみることができる

## 研修医評価表

II. 経験目標項目 > B) 経験すべき症状・病態・疾患 > 1. 頻度の高い症状

■:最新の研修ブロック ■: [指導医による確認]が得られて 経験済みとみなされた項目

1. 頻度の高い症状 ※ 10必修項目	レポート 提出	全研修ブロックでの評価一覧 (青字:研修医自己評価/赤字:指導医評価)												
		内科 2003.05.01- 2003.10.31	外科 2003.11.01- 2004.01.31	救急部門 2004.02.01- 2004.04.30	小児科 2004.05.01- 2004.06.31	産婦人科 2004.06.01- 2004.06.30	地域医療・医療 2004.07.01- 2004.07.31	精神科 2004.08.01- 2004.08.31	薬剤科 2004.09.01- 2004.12.31	20	21			
1) 全身倦怠感	不要	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-
2) 嘔吐	未提出	済/済	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-
3) 食欲不振	不要	済/未	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-
4) 体重減少・体重増加	不要	-/-	済/済	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-
5) 浮腫	未提出	済/未	済/済	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-
6) リンパ管腫脹	未提出	-/-	済/済	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-
7) 疼痛	提出済	済/済	済/未	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-
8) 貧血	不要	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-
9) 発熱	未提出	-/-	済/済	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-

# 指導状況の評価

## 指導状況の評価

担当指導責任者:

評価対象は [担当指導責任者] に表示  
指導助手も含めた指導医を指す。

参照は研修修了後

◎ A=満足, B=どちらかといえば満足, C=どちらかといえば不満, D=不満  
(評価対象が複数時、AやDをいくつつけても構いませんが、Bを優先します。)

指導評価項目	
1) 医療面接・基本手技の指導	◎ A ● B ○ C ○ D ○ 評価不能 ○ 未入力
2) 考え方の指導	● A ○ B ○ C ○ D ○ 評価不能 ○ 未入力
3) 研修意欲の高め方* (*やる気を出させた、自分の指導に責任を持ったなど)	◎ A ● B ○ C ○ D ○ 評価不能 ○ 未入力
4) 研修医の状況への配慮	● A ○ B ○ C ○ D ○ 評価不能 ○ 未入力
5) 指導を受けた医者の水準* (*診断・治療の水準)	◎ A ● B ○ C ○ D ○ 評価不能 ○ 未入力
6) 安全管理の指導	◎ A ● B ○ C ○ D ○ 評価不能 ○ 未入力
7) 患者・家族に対する態度の指導	● A ○ B ○ C ○ D ○ 評価不能 ○ 未入力
8) コミュニカルに対する態度の指導	◎ A ● B ○ C ○ D ○ 評価不能 ○ 未入力
総合評価	◎ A ● B ○ C ○ D ○ 評価不能 ○ 未入力

フリーコメント  
も入力可能

この他、意見があれば下の欄に記述して下さい

特に良いと思われる点	カンファレンスではプレゼンテーションの難しさと大切さがよくわかった。対象臓器が多くて手技もいくつかでき勉強になったと思う。
改善してほしい点	火曜日のカンファレンスで、朝と同じ症例を午後発表するのはあまり意味がないように思う。

## 「診療科(協力施設)について」 の研修環境の評価

◆ 福利厚生		
評価項目	評価段階(4段階)	評価項目の解説
1) 休暇・休養	<input type="radio"/> 満足 <input type="radio"/> 許容範囲内 <input type="radio"/> 不満 <input type="radio"/> 評価不能	休養できる時間や日数、取得しやすさ、当該研修への配慮などをともに評価します
◆ 研修内容		
2) 経験症例数	<input type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 多すぎる <input type="radio"/> 少なすぎる <input type="radio"/> 評価不能	研修時期や期間から見て適切な経験症例数を考え、それと比較して自分が経験した症例の数を評価します
3) 経験症例の種類	<input type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 多すぎる <input type="radio"/> 少なすぎる <input type="radio"/> 評価不能	研修時期や期間から見て適切な経験症例の種類を考え、それと比較して自分が経験した症例の種類を評価します
4) 経験手法・検査の数	<input type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 多すぎる <input type="radio"/> 少なすぎる <input type="radio"/> 評価不能	研修時期や期間から見て適切な経験手法・検査数を考え、それと比較して自分が経験した手法・検査の数を評価します
5) 経験手法・検査の種類	<input type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 多すぎる <input type="radio"/> 少なすぎる <input type="radio"/> 評価不能	研修時期や期間から見て適切な経験手法・検査の種類を考え、それと比較して自分が経験した手法・検査の種類を評価します
6) 研修の時期	<input type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 早すぎる <input type="radio"/> 遅すぎる <input type="radio"/> 評価不能	2年間のどの時期にこの科を研修するのが適切かを考え、それと比較して自分の研修時期を評価します
7) 研修期間	<input type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 長すぎる <input type="radio"/> 短すぎる <input type="radio"/> 評価不能	2年間の中でどの程度の研修期間をこの科の研修にあてるのが適切かを考え、それと比較して自分の研修期間を評価します
8) 症例検討会、講習会などの教育システム	<input type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 多すぎる <input type="radio"/> 少なすぎる <input type="radio"/> 評価不能	研修目的を達成するために必要な症例検討会・講習会が開催されていたかどうかをともに評価します
◆ 人的支援体制		
9) 研修医師の連携	<input type="radio"/> 満足 <input type="radio"/> 許容範囲内 <input type="radio"/> 不満 <input type="radio"/> 評価不能	研修医同士の医師の確保、研修環境や意見集約のしやすさなどをともに評価します
10) 指導医師の連携	<input type="radio"/> 満足 <input type="radio"/> 許容範囲内 <input type="radio"/> 不満 <input type="radio"/> 評価不能	指導医師で研修方針が統一されているか、責任の所在が明確か、他科からの指導が容易に受けられるか、などをともに評価します
11) コメディカルからの支援	<input type="radio"/> 満足 <input type="radio"/> 許容範囲内 <input type="radio"/> 不満 <input type="radio"/> 評価不能	コメディカルとの検査・採材・患者誘導などの業務分担、コメディカルの指示受け体制などをともに評価します

## 最後にプログラム評価を入力

### プログラム全体の評価

A=勧められる、B=おおむね勧められる、C=あまり勧められない、D=勧められない

Q1: 新たに臨床研修を受ける人に対してあなたはこのプログラムでの研修を勧めますか。 A B C D

Q2: 次の項目について、コメントしてください。

A2-1: 本プログラムの改善すべき点	
A2-2: 本プログラムのよかった点	